

平成21年6月期 第3四半期決算短信

平成21年5月11日

上場会社名 株式会社ユビテック 上場取引所 大証ヘラクレス
 コード番号 6662 URL <http://www.ubiteq.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)荻野 司
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)明石 直人 TEL (03)5487-5560
 四半期報告書提出予定日 平成21年5月15日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年6月期第3四半期の連結業績 (平成20年7月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年6月期第3四半期	3,757	1.9	221	6.0	226	△8.5	106	△2.3
20年6月期第3四半期	3,688	△25.4	209	△52.7	247	△46.8	109	△55.9

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年6月期第3四半期	3,054	23	3,037	46
20年6月期第3四半期	3,126	60	3,066	71

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
21年6月期第3四半期	3,653		2,999		81.6	85,165	35	
20年6月期	3,917		2,933		74.4	83,312	08	

(参考) 自己資本 21年6月期第3四半期 2,982百万円 20年6月期 2,916百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
20年6月期	—	—	—	—	—	—	1,000	00	1,000	00
21年6月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21年6月期(予想)	—	—	—	—	—	—	1,000	00	1,000	00

- (注) 1. 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無
 2. 平成21年4月1日付けにて普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割いたしました。
 3. 平成21年6月期の配当予想につきましては、普通株式1株を4株に株式分割することに伴い、250円といたします。

3. 平成21年6月期の連結業績予想 (平成20年7月1日～平成21年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	5,050	2.7	265	9.2	265	△0.6	129	33.8	913	35

- (注) 1. 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無
 2. 平成21年4月1日付けにて普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割いたしました。平成21年6月期の業績予想における1株当たり当期純利益は、株式分割後の株式数を前提に算出しております。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕
(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
② ①以外の変更 : 無

〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
21年6月期第3四半期 35,375株 20年6月期 35,355株
- ② 期末自己株式数
21年6月期第3四半期 350株 20年6月期 350株
- ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)
21年6月期第3四半期 35,013株 20年6月期第3四半期 34,993株

(注)平成21年4月1日付けにて普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割を行っており、本資料提出日現在の発行済株式総数は、141,500株となっております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1)本資料に記載した業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
- (2)当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国発の金融危機が世界各国の実態経済に波及し、輸出の大幅な減少、在庫調整および株式市場の混乱により、企業収益・雇用情勢が急激に悪化するなど景気減速感が一層強まる中、当社も全般的に厳しい環境が続いております。

このような環境の下、いかなる経済環境であっても収益を確保できる筋肉質な企業体質を目指し、グループ全体によるローコストオペレーション体制を徹底すると共に、オフィス賃借費用の削減や管理部門を中心とした間接部門の縮小、業務効率の向上によるコスト削減を進めてきました。

また、業務全体を見直しながら関係協力会社にもご協力を頂き、仕入コストや外部委託費用についても削減を進めてきました。

同時に、UBIRIS Proやカーシェアリング車載システムといった自社製品や新サービス開発を継続し、販売展開を進めた結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,757百万円、営業利益は221百万円、経常利益は226百万円、四半期純利益は106百万円となりました。

(連結各セグメントの概況について)

電子機器事業は、既存顧客向けの量産案件ではエレクトロニクス業界不振による影響を受け、引き続き厳しい状況となりました。そこで自社製品の販売及び新サービスの開発に加え、全社的な業務効率化と仕入れコストや外部委託費用の削減、そして効率的な人員配置を行った結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,762百万円、営業利益は113百万円となりました。

モバイル・ユビキタス事業は、携帯電話評価業務及び昨年度資本提携を行ったパナソニック電気株式会社からの受注、株式会社ユビテックソリューションズの組み込み型ソフトウェアの受託開発が引き続き順調に推移しました。また、総務省公募案件である「固定無線システムに関する調査検討」などを行いました。そして引き続き全社的な業務効率化への取り組みや内部要員の有効活用によるコスト削減対応を進めた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,995百万円、営業利益は395百万円となりました。

なお、新しい事業の軸として省エネ・環境対策に対する社会的ニーズに応えるべく、当社のBX (Building eXchange) にルータ機能を加えたBX-Officeを開発し、「グリーン東大工学部プロジェクト」において今後の製品展開を見据えた実証実験を進めています。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は3,653百万円となり、前連結会計年度末から264百万円減少しております。主な内容としましては、流動資産においては現金及び預金が132百万円増加、受取手形及び売掛金が288百万円減少しております。固定資産においては投資有価証券が15百万円減少しております。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は653百万円となり、前連結会計年度末から330百万円減少しております。主な内容としましては、流動負債において支払手形及び買掛金が298百万円、未払金が36百万円それぞれ減少しております。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は2,999百万円となり、前連結会計年度末から66百万円増加しております。主な内容としましては、四半期純利益106百万円の計上と剰余金の配当35百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、以下の各キャッシュ・フロー状況とそれらの増減要因により、前連結会計年度末に比べて132百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末は、1,640百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は167百万円となりました。これは主に仕入債務の減少298百万円、法人税等の支払147百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益217百万円、売上債権の減少288百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は3百万円となりました。これは主に固定資産の取得による支出15百万円、投資有価証券の取得による支出5百万円があったものの、敷金の解約による収入16百万円、投資事業組合分担金による収入8百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は34百万円となりました。これは主に配当金の支払35百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年8月8日に発表しました、平成20年6月期決算短信に記載の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している場合に、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 四半期特有の会計処理

① 税金費用の計算

一部の連結子会社において、当第3四半期累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

当該変更による損益に与える影響はありません。

③ リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

当該変更による損益に与える影響はありません。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,640,164	1,507,187
受取手形及び売掛金	1,168,792	1,457,618
製品	111,674	64,492
原材料	115,339	163,627
仕掛品	55,680	44,618
貯蔵品	334	229
繰延税金資産	73,613	62,326
その他	90,620	178,460
貸倒引当金	△570	△662
流動資産合計	3,255,650	3,477,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	49,557	48,287
減価償却累計額	△12,542	△7,072
建物及び構築物（純額）	37,015	41,214
工具、器具及び備品	354,587	418,619
減価償却累計額	△309,023	△360,133
工具、器具及び備品（純額）	45,563	58,486
有形固定資産合計	82,579	99,700
無形固定資産		
のれん	34,215	45,620
その他	21,457	21,619
無形固定資産合計	55,673	67,239
投資その他の資産		
投資有価証券	66,152	81,233
繰延税金資産	34,812	33,115
その他	158,687	158,389
投資その他の資産合計	259,652	272,738
固定資産合計	397,905	439,678
資産合計	3,653,556	3,917,576

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	338,040	636,965
未払金	61,779	98,128
未払法人税等	61,552	63,647
賞与引当金	18,529	4,502
役員賞与引当金	13,125	17,500
その他	80,139	85,722
流動負債合計	573,165	906,466
固定負債		
退職給付引当金	80,605	77,637
固定負債合計	80,605	77,637
負債合計	653,771	984,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	853,612	853,048
資本剰余金	567,514	566,950
利益剰余金	1,648,589	1,576,698
自己株式	△75,474	△75,474
株主資本合計	2,994,243	2,921,223
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,148	△1,801
為替換算調整勘定	△4,178	△3,015
評価・換算差額等合計	△11,326	△4,817
少数株主持分	16,868	17,065
純資産合計	2,999,785	2,933,471
負債純資産合計	3,653,556	3,917,576

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)
売上高	3,757,477
売上原価	2,988,288
売上総利益	769,189
販売費及び一般管理費	547,244
営業利益	221,944
営業外収益	
受取利息	4,285
受取配当金	97
その他	2,152
営業外収益合計	6,535
営業外費用	
為替差損	2,084
投資事業組合運用損	160
その他	5
営業外費用合計	2,250
経常利益	226,230
特別利益	—
特別損失	
固定資産除却損	3,419
固定資産売却損	73
投資有価証券評価損	5,565
特別損失合計	9,058
税金等調整前四半期純利益	217,171
法人税、住民税及び事業税	122,065
法人税等調整額	△11,899
法人税等合計	110,165
少数株主利益	68
四半期純利益	106,937

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	217,171
減価償却費	28,701
新株発行費	2
投資有価証券評価損益(△は益)	5,565
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△92
賞与引当金の増減額(△は減少)	14,065
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,375
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,981
受取利息及び受取配当金	△4,285
為替差損益(△は益)	3,138
投資事業組合運用損益(△は益)	160
固定資産売却損益(△は益)	73
固定資産除却損	3,419
のれん償却額	11,405
売上債権の増減額(△は増加)	288,823
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,162
仕入債務の増減額(△は減少)	△298,920
その他	54,405
小計	312,077
利息及び配当金の受取額	2,785
法人税等の支払額	△147,849
営業活動によるキャッシュ・フロー	167,013
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△8,989
無形固定資産の取得による支出	△6,018
有形固定資産の売却による収入	9
敷金及び保証金の回収による収入	16,757
敷金及び保証金の差入による支出	△1,002
出資金の分配による収入	8,090
投資有価証券の取得による支出	△5,283
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,563
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	1,126
自己株式の取得による支出	△41
配当金の支払額	△35,223
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,138
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,462
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	132,976
現金及び現金同等物の期首残高	1,507,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,640,164

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日）
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日）

	電子機器事業 (千円)	モバイル・ユビキ タス事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,762,210	1,995,267	3,757,477	—	3,757,477
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,762,210	1,995,267	3,757,477	—	3,757,477
営業利益	113,089	395,109	508,199	(286,254)	221,944

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な製品サービス

(1) 電子機器事業

- ・デジタル情報家電向け映像エンジンシステムの開発・生産業務
- ・ATM（オートテラマシーン）や複写機に内蔵されている主要モジュールシステムの開発・生産業務
- ・上記テクノロジーを融合させた新技術の開発業務

(2) モバイル・ユビキタス事業

- ・携帯電話端末評価業務
- ・次世代無線ブロードバンド「WiMAX」のネットワーク支援業務
- ・次世代ネットワークングテクノロジー「IPv6」に関する技術開発業務
- ・Web2.0テクノロジーを活用したWeb2.0ソリューション事業
- ・組込み型ソフトウェアの受託開発およびシステム開発等の人材派遣

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,757,464	12	3,757,477	—	3,757,477
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	524,158	524,158	(524,158)	—
計	3,757,464	524,170	4,281,635	(524,158)	3,757,477
営業利益	468,634	39,463	508,098	(286,153)	221,944

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

アジア…中国、ベトナム

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)

	アジア	計
I 海外売上高(千円)	504,304	504,304
II 連結売上高(千円)	—	3,757,477
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.4	13.4

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
アジア…中国、ベトナム

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 前四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期累計期間 (自 平成19年7月1日 至 平成20年3月31日)	
	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	3,688,750	100.0
II 売上原価	2,921,913	79.2
売上総利益	766,836	20.8
III 販売費及び一般管理費	557,367	15.1
営業利益	209,468	5.7
IV 営業外収益		
1 受取利息	4,141	
2 為替差益	28,124	
3 その他	5,600	
営業外収益合計	37,866	1.0
V 営業外費用		
1 支払利息	143	
営業外費用合計	143	0.0
経常利益	247,191	6.7
VI 特別利益	—	
VII 特別損失		
1 固定資産除却損	47,663	
2 その他	708	
特別損失合計	48,371	1.3
税金等調整前第3四半期 純利益	198,819	5.4
法人税、住民税及び事業税	135,961	3.7
法人税等調整額	△48,328	△1.3
少数株主利益	1,774	0.0
第3四半期純利益	109,411	3.0

(2) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年7月1日 至 平成20年3月31日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前第3四半期純利益	198,819
減価償却費	31,915
臨時償却費	708
貸倒引当金の増減額(△減少額)	123
賞与引当金の増減額(△減少額)	22,781
役員賞与引当金の増減額(△減少額)	△40,000
退職給付引当金の増減額(△減少額)	△6,033
受取利息	△4,141
支払利息	143
為替差益	2,530
投資事業組合損益	△1,496
固定資産除却損	21,263
のれん償却額	11,405
売上債権の増減額(△増加額)	189,722
たな卸資産の増減額(△増加額)	23,085
仕入債務の増減額(△減少額)	△365,589
その他	△60,596
小計	24,641
利息の受取額	4,141
利息の支払額	△143
法人税等の支払額	△132,350
法人税等の還付	34,221
営業活動によるキャッシュ・フロー	△69,489
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△28,396
無形固定資産の取得による支出	△6,901
敷金保証金の解約による収入	473
敷金保証金の差入れによる支出	△170,247
子会社株式取得による支出	△5,381
投資事業組合分配金による収入	21,492
投資有価証券の取得による支出	△532
投資活動によるキャッシュ・フロー	△189,492
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	△6,120
長期借入金の返済による支出	△7,560
株式発行による収入	3,282
配当金の支払額	△78,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,591
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,204
V 現金及び現金同等物の増減額	△368,776
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,808,278
VII 現金及び現金同等物の第3四半期末残高	1,439,501

(3)セグメント情報

前四半期連結累計期間（自 平成19年7月1日 至 平成20年3月31日）

	電子機器 事業 (千円)	モバイル・ ユビキタス事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業利益					
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,811,286	1,877,463	3,688,750	—	3,688,750
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,684	1,684	(1,684)	—
計	1,811,286	1,879,147	3,690,434	(1,684)	3,688,750
営業費用	1,772,665	1,411,618	3,184,283	294,998	3,479,281
営業利益	38,621	467,529	506,151	(296,682)	209,468